

# 環境報告書

EXEDY Corporation Environmental Report

# 2013

**EXEDY**  
株式会社エクセディ



## 環境理念

エクセディは、自然と社会との共生を実現するために、企業理念＝『喜びの創造』を追求し、企業活動の全ての面において、地球にやさしい環境づくりに努めます。

## 環境方針

エクセディ環境理念に基づき、生産・製品・サービスの分野において、環境マネジメントシステムを実行し、環境問題の未然防止と継続的改善活動を積極的に推進します。

- 1) 環境に関する法令・条例・協定および同意したその他の要求事項を遵守します。
- 2) 産業廃棄物の削減と資源の有効利用を推進します。
- 3) 環境に配慮した製品開発とものづくりにおいて、地球温暖化防止と環境負荷物質の廃止・削減を推進します。
- 4) 地域の環境改善への参加・支援に積極的に取り組みます。
- 5) この環境方針は、すべての従業員に周知させるとともに、社外に開示します。

制定 2007年4月1日

代表取締役社長 **清水春生**



# CONTENTS

会社概要……………1  
 環境理念・方針……………2  
 環境マネジメント……………3～4  
 生産・製品における環境保全活動……………5～6  
 生産・製品におけるCO<sub>2</sub>削減への取組み実施例……………7～8  
 社会との共生……………9～10

### ■対象期間

2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)を対象としていますが、この期間外であっても、必要と判断した事象も含めて報告しています。

### ■対象組織

国内事業所の本社・上野事業所・川越工場を対象範囲としています。また、関係会社の活動状況についても一部紹介しています。

### ■編集方針

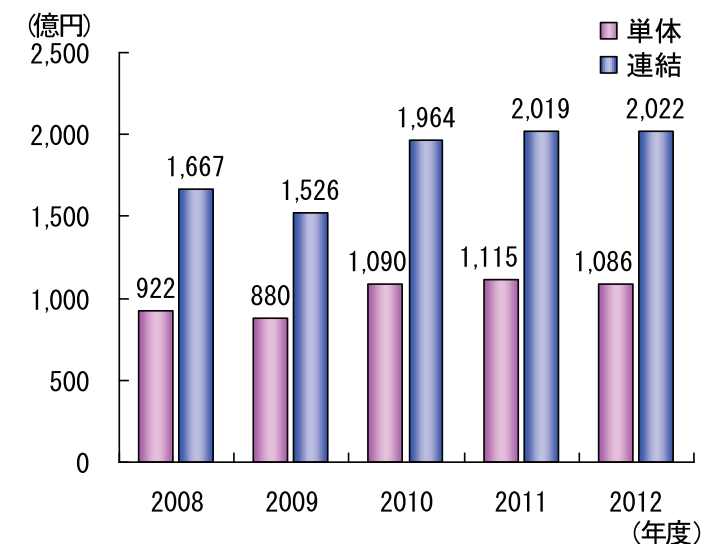
社会との共生では、社会貢献に加えて労働安全衛生等の取り組み事例について紹介しています。本報告書の作成に当たっては、環境省の「環境報告書ガイドライン」を参考にしています。



表紙の写真は、2013年2月に大阪サステナブル建築賞(大阪建築環境配慮賞)の大阪府知事賞を受賞したエクセディ本社の新本館ビルです。当社は企業活動の全ての面において、今後も地球に優しい環境づくりに努めて参ります。

## 会社概要

商号 株式会社エクセディ  
 英文社名 EXEDY Corporation  
 設立 1950年(昭和25年)7月1日  
 資本金 8,284百万円  
 代表取締役社長 清水春生  
 グループ社員数 約15千名  
 売上高推移 (数値は2013年3月31日現在)



国内事業所 本社 (大阪府寝屋川市)  
 上野事業所 (三重県伊賀市)  
 川越工場 (埼玉県川越市)  
 広島工場 (広島県東広島市)

### 連結対象会社

国内 北海道・岡山等 計11社  
 海外 欧米・アジア等 計25社  
 総数 36社(持分法適用会社含む)

## 主要製品

A T事業：自動変速装置部品



M T事業：手動変速装置部品



T S事業：建設・産業車両、農機・商用車用装置部品



## ■ 環境マネジメント体制

エクセディでは、全社環境担当責任者を委員長とする EGC委員会 (EGC: EXEDY Global Clean) を中心に マネジメント体制を構築し、全社環境方針の策定 や活動状況の管理を実施しています。



JQA-EM0901



## 2012年度実績と2013年度目標

項目	2012年度		2013年度
	目標	実績	目標
<b>省エネ活動</b> 省エネ法による 原単位: 前年度比1%レス	*1 原単位: 38.0 トン-CO <sub>2</sub> /億円	原単位: 前年度比2%増 38.7→39.6 トン-CO <sub>2</sub> /億円	原単位: 39.5 トン-CO <sub>2</sub> /億円
<b>3Rの推進</b> 「新ゼロエミッション」達成	原単位: 産廃排出量: 0.15トン/億円	原単位: 前年度比12%減 0.17→0.15 トン/億円	原単位: 0.147 トン/億円
	リサイクル率: 98%	リサイクル率: 96%	リサイクル率: 98%
<b>環境負荷物質の削減・廃止及び管理</b>	*3 PRTR 法に基づく管理	*4 行政及び部工会へ報告	PRTR 法に基づく管理
<b>車両の燃費向上に貢献する製品開発</b>	試作の評価と 量産移行・受注の獲得	試作納入済み	低燃費製品量産開始
<b>環境負荷物質の削減</b> (有害物質の全廃)	補修部品の6価クロム 鉛廃止推進の継続	6価クロム 順次廃止継続中	補修部品の6価クロム 鉛廃止推進の継続

\*1 原単位: CO<sub>2</sub> 排出量/売上高 \*2 3R: リデュース・リユース・リサイクル \*3 PRTR 法: 化学物質の排出・移動量届出制度 \*4 部工会: 日本自動車部品工業会

## ■ 環境会計 ～環境活動への費用・投資～

環境に対する取り組みを効果的に推進していくために、環境保全コストとその活動により得られた環境保全効果と経済効果を表しています。

### 2012年度 環境保全コスト

(単位: 百万円)

コスト項目	投資	費用	主な取り組み内容
公害防止	9	101	雨水分離槽補強, 浄化設備補修
地球環境保全	176	58	太陽光発電パネル・空調負荷軽減システム導入
資源循環	4	98	廃棄物処理・リサイクル処理
管理活動	22	26	環境月間イベント, ISO 更新審査
研究活動	0	99	低燃費化製品・再資源化材料の開発, 軽量化
社会活動	8	20	事業所内の緑化, 防災公園整備
合計	219	402	
総計		621	

### 環境保全に伴う経済効果と物量効果

#### < 経済効果 >

(単位: 百万円)

効果項目	2010年度	2011年度	2012年度
CO <sub>2</sub> 削減の低減	103	49	36
廃棄物処理費用の低減	0	14	0
有価物の売却	1,014	881	885
合計	1,117	944	921

#### < 物量効果 >

効果項目	2010年度	2011年度	2012年度
産業廃棄物排出量*5	172トン	194トン	164トン
CO <sub>2</sub> 排出量	43.7千トン-CO <sub>2</sub>	43.2千トン-CO <sub>2</sub>	43.5千トン-CO <sub>2</sub>

\*5 産業廃棄物排出量は、リサイクル分除く

## ■ 環境監査 (ISO14001)

部門自主監査、定期内部監査、外部機関による審査の3段階による監査及び審査を実施しています。

### ISO14001更新審査

2012年4月23日～26日の4日間にわたり、JQAによるISO14001更新審査が行われました。今回の審査では「省エネ」及び「資源循環」に基づいた活動などが高く評価されました。今回指摘を受けた項目については、各部門へ水平展開し、さらなるシステムの改善を進めます。

#### << 審査及び監査結果 >>

年度	更新審査 (2012/4月)	内部環境監査 (2013/3月)	
		重大な不適合	軽微な不適合
2012	0件	0件	10件
	27件		38件



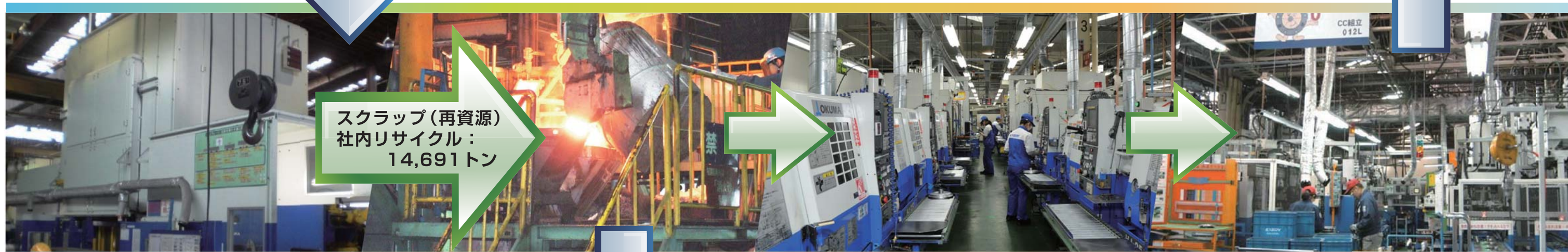
# 生産・製品における環境保全活動

～最少エネルギーと最少材料で～

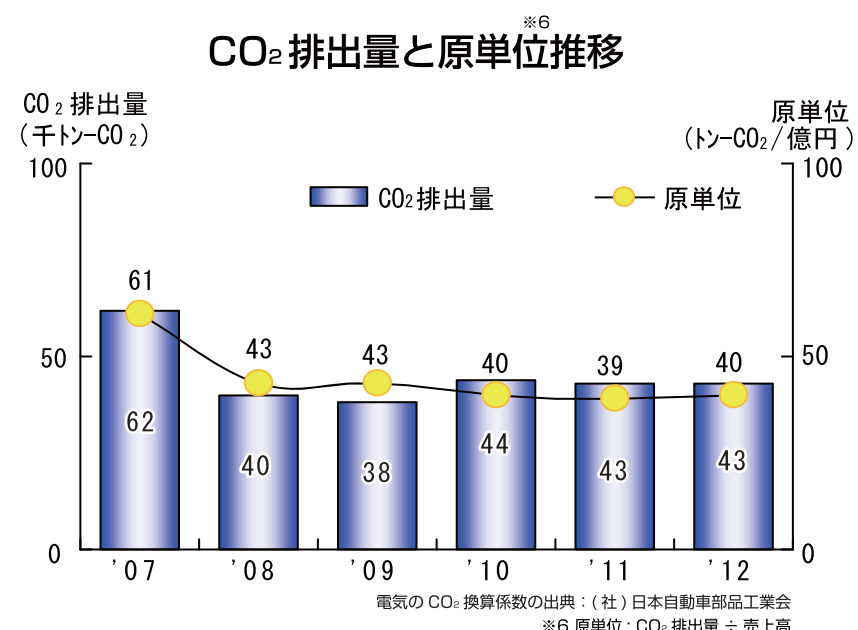
エネルギー	購入材料	水資源
<ul style="list-style-type: none"> <li>電力: 133,889千kWh</li> <li>灯油: 190kℓ</li> <li>ガソリン: 101kℓ</li> <li>軽油: 279kℓ</li> <li>都市ガス: 93千m<sup>3</sup></li> <li>LPG: 688トン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鋼材: 107,457トン</li> <li>鋳物: 8,967トン</li> <li>鍛造: 12,983トン</li> <li>摩擦材: 8.64百万枚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上水: 148千m<sup>3</sup></li> <li>工業用水: 104千m<sup>3</sup></li> </ul>



製品  
年間出荷台数:  
15百万台



スクラップ(再資源)  
社内リサイクル:  
14,691トン



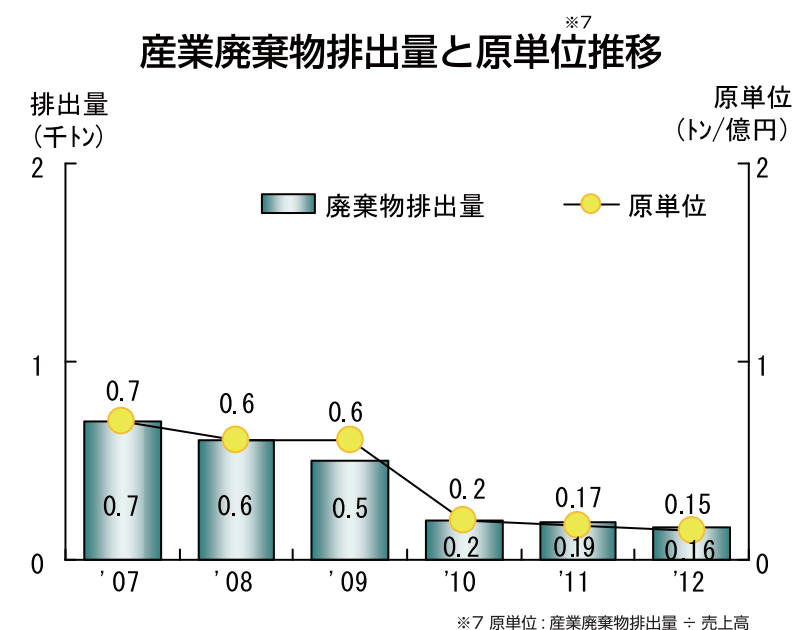
Output

CO<sub>2</sub> 排出  
43,490トン

外部委託  
再資源化物  
36,687トン

外部委託  
埋め立て  
135トン

外部委託  
中間処理  
29トン





# 生産・製品におけるCO<sub>2</sub>削減への取組み 実施例(2012年度)

当社の本業であるものづくりの中で、素重、取りしろ削減、軽量化を進めるとともに、「省エネ7つの着眼点<sup>※8</sup>」に基づき、省エネ・CO<sub>2</sub>削減に向けた施策を進めています。

※8 省エネ7つの着眼点：「きめる」、「とめる（やめる）」、「なおす（もどす）」、「へらす（さげる）」、「わける」、「かえる」、「ひろう」

## ■きめる

### 🌿 最適運転設定によるエネルギーロス削減

実験用冷却塔の運転条件を、通年同じ設定の運転から手動運転でデータ取りし、季節・運転状況に沿った最適な運転設定へ変更することで使用電力を削減しました。

(CO<sub>2</sub>削減量：34.5トン/年) (開発本部)



## ■とめる・かえる

### 🌿 ポンプ更新とインバータ撤去による電力削減

ポンプをインバータで適正化し、運転していたものを、ポンプを高効率のものへ替え、不要となったインバータを撤去し、使用電力を削減しました。

(CO<sub>2</sub>削減量：4.8トン/年) (AT製造本部)

高効率となったポンプ

## ■なおす

### 🌿 エア漏れ撲滅活動による電力削減

計画的にエア漏れ改修を実施することにより、使用電力を削減しました。

(CO<sub>2</sub>削減量：168トン/年) (M&T製造本部、AT製造本部)

習慣化したエア漏れ改修活動は効果も大きい

## ■わける

### 🌿 蓄電池導入・回路変更による電力削減

蓄電池導入・回路を分けることにより、日中に太陽光発電で得た電力を、夜間のみ事業所内の外灯に使用しました。これにより使用電力を削減しました。

(CO<sub>2</sub>削減量：2.8トン/年) (上野事業所)



## ■へらす

### 🌿 エアコン室外機の負荷軽減

夏場のエアコン室外機の冷却フィンに工業用水を噴霧し、気化熱により強制冷却することで電力増加の抑制をしました。

(CO<sub>2</sub>削減量：28.8トン-CO<sub>2</sub>/年) (本社全域)

室外機の負荷をへらし、冷房効率向上

## ■かえる

### 🌿 塗装塗料の変更による放熱ロスの削減

加熱炉の放熱ロスが多いため、断熱塗装をすることにより炉表面からの放熱ロスを削減しました。

(CO<sub>2</sub>削減量：61.2トン-CO<sub>2</sub>/年) (AT製造本部)

断熱塗装により作業環境の改善ができました



## ■ひろう

### 🌿 太陽光発電パネル設置

上野事業所の屋根上及び壁面などに計200kWの太陽光発電パネルを設置することにより、使用電力を削減できました。

(CO<sub>2</sub>削減量：73.2トン-CO<sub>2</sub>/年) (上野事業所)

TCイースト工場屋上に設置された太陽光発電パネル



## ～歩調をあわせて環境・社会貢献活動を～

深刻化する地球環境において、生産活動に伴う環境負荷も高まり、従業員一人ひとりが環境問題に対する認識を一層高める必要があります。また良き企業市民であるために、地域社会への継続的貢献は不可欠です。エクセディグループでは各社の状況に即した活動を展開しています。

### 大阪サステナブル建築賞の大阪府知事賞を受賞

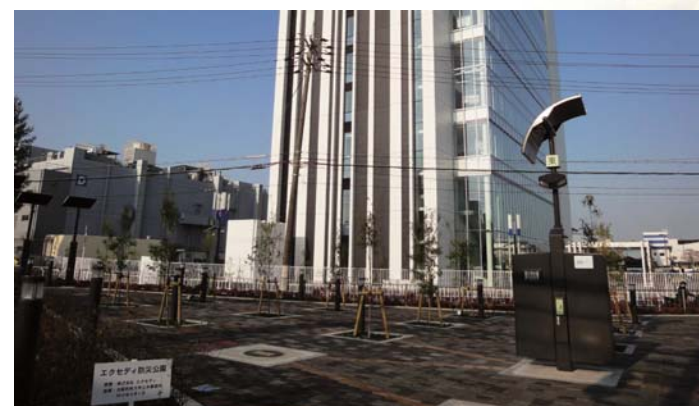
エクセディ本社（大阪府）新本館ビルが、環境配慮の模範となる建築物と評価され、2013年2月18日大阪サステナブル建築賞（大阪建築環境配慮賞）の大阪府知事賞を受賞しました。

新本館ビルは環境負荷低減、自然エネルギーの利用といった建築物の周辺環境への配慮に加え、自社敷地を地域の防災対策に提供するという、社外に対する姿勢にも高い評価を頂きました。

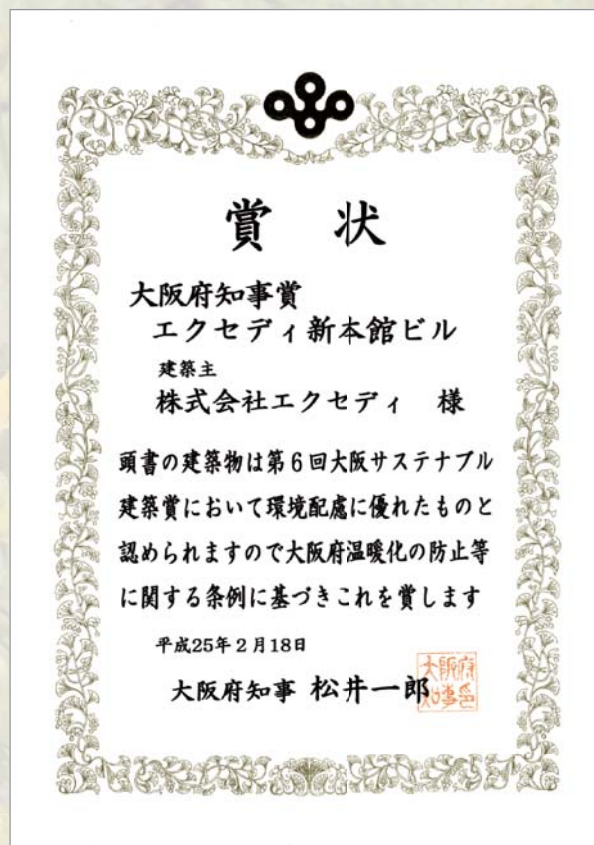
当社は引き続き、企業活動の全ての面において、地球に優しい環境づくりに努めます。



南側外壁に設置された太陽光発電パネル



エクセディ防災公園を設置し、地域へ提供



表彰状

### 太陽光発電事業開始

エクセディ本社（大阪府）は住金物産株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：岡田充功）と共同で、太陽光発電事業の運営会社：株式会社エクセディSB兵庫を設立し、兵庫県丹波市にメガソーラー発電所を開設・発電を開始しました。



出力規模：約1,750kWのメガソーラー

## ～社会貢献情報～

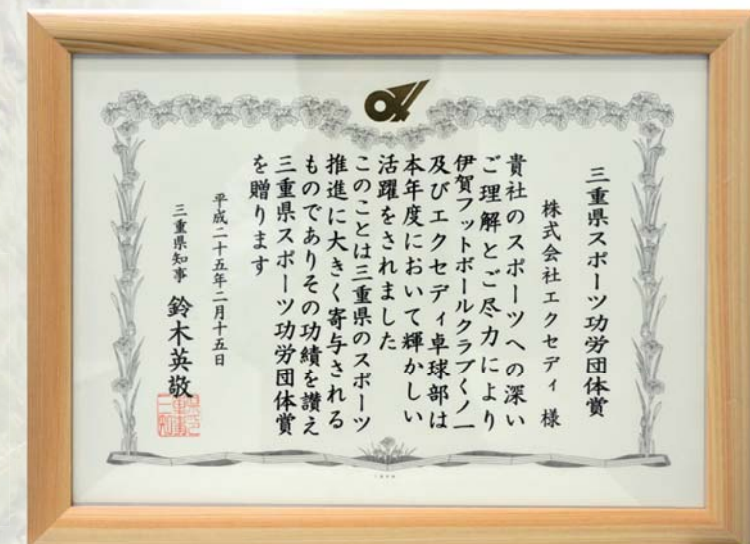


市民ボランティアと共に広葉樹3000本を植樹

### 美作市植樹祭へ参加

エクセディ精密（岡山県）では美作市真殿の袴ヶ仙で開催された植樹祭へ参加しました。

この活動は、クマ、イノシシなどの野生獣対策の一つとして、市有林の針葉樹を伐採し、実のなる広葉樹を植栽することで、野生獣と共生しようとするもので、今後も継続して参加して参ります。



表彰状

### スポーツ功労賞を受賞

エクセディ（三重県）が三重県スポーツ賞表彰式において、「三重県スポーツ功労団体賞」を受賞しました。なでしこリーグの伊賀FCくノ一への支援や、当社女子卓球部のリーグ戦での活躍が、三重県の競技スポーツ推進に寄与したと評価されました。



消防署員の見守り中、社内講師による救命講習実施

### 普通救命講習の社内育成開始

エクセディ（大阪府・三重県）では従業員の中から応急手当普及員を15名育成し、社内普及員による普通救命講習を開始しました。

万が一の有事に備え、今後も継続して従業員の育成を行って参ります。

### 災害ゼロ500万時間超表彰

エクセディフリクションマテリアル（タイ）が500万時間以上のゼロ災害を継続していることが高く評価され、タイ労働省よりシルバー表彰を受賞しました。この賞は、タイ全国でも74事業所でのみの受賞になります。



トロフィー授与の様子





# 株式会社エクセディ

〒572-8570 大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号

お問い合わせ先：管理本部 安全衛生環境部 環境・健康管理チーム

編集責任者 平尾 博昭

作成者 松本かよ 水上博晴 望月伸二 牛野美穂 中村正憲

TEL.072-824-1009 FAX.072-822-4145

発行：2013年4月

本誌はエクセディホームページ上でもご覧いただけます。

<http://www.exedy.com/>



このカタログの印刷は環境にやさしい  
植物性大豆インキを使用しています。



この印刷物に使用している用紙は、  
森を元気にするための間伐と間伐材の  
有効活用に役立ちます。

2013.4. 300 094 Printed in Japan